

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	道路補修事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	建設部	課等名	土木課		包含する細々目	1	8	2	2	10	1	175,000
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり											
施策	44 交通機関と道路の充実											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	不要	事業期間		年度～	年度	関連計画 条例等		

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	・市道全般の舗装施設を除く道路施設の維持補修必要箇所。	・道路維持補修必要箇所：箇所	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする
			900	900		
	・路面陥没、側溝破損、道路構造物破損等の維持補修必要箇所を修繕し、交通安全を図る。	・道路維持補修実施箇所：箇所	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		最終目標達成年度
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
		18目標	600	最終目標		
		18実績	610	19目標	600	↑
		23目標	600	23実績		最終目標達成年度
		18目標		最終目標		
		18実績		19目標		↑
		23目標		23実績		最終目標達成年度

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	・舗装施設を除く、道路施設の維持補修を行う。 ・道路陥没補修。 ・道路側溝及び横断側溝、横断暗渠の破損補修及び老朽施設の補修。 ・ガードレール、ガードフェンス、ガードパイプ、照明施設等安全施設の破損補修及び老朽施設の補修。 ・土留構造物の破損補修及び老朽施設の補修。	・道路維持補修工事	維持補修工事数：箇所	610箇所
	18年度の実績			
	19年度計画	・道路維持補修工事	維持補修工事数：箇所	600箇所程度

<金額の単位：千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	国庫支出金	0	0
	特定県支出金	0	0
	財起債	0	0
	その他	0	0
	一般財源	183,237	175,000
	事業費計(A)	183,237	175,000
人件費	正規職員所要時間	18年度 1,100	19年度 1,100
	臨時職員等所要時間	3,200	3,200
	人件費計(B)	7,374	7,374
	トータルコストA+B	190,611	182,374

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	・道路施設の維持補修により、交通安全性が向上し、事故防止につながる。 ・道路排水施設の維持補修により、雨水等の水路よりの越水による隣接の宅地及び農地等への浸水被害防止につながる。	・瑕疵事故及び苦情件数：件	現状値	30	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

<p><b>この事業を開始したきっかけ</b></p> <p>・道路維持補修については、舗装構造物を除く道路施設の維持補修であり、構造物の耐用年数等により老朽化による安全性の低下や破損等の維持補修箇所が日常的に発生している。</p>	<p><b>事業を取り巻く状況の変化</b></p> <p>・交通量の増加、車両の大型化、施設の老朽化による維持補修必要箇所が増加している。</p>	<p><b>事業に対する市民や議会の意見</b></p> <p>・各地区からの補修要望や緊急補修要望が毎年多数報告されている。施設の老朽化も進んでおり、交通の安全上早急な対応が必要である。</p>
--	--	--

**【See】18年度の振り返り**

目的妥当性評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	<p>(評価) <b>結びつく</b> (その理由)</p> <p>・交通の安全性向上。</p>	有効性評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	<p>(評価) <b>余地がある</b> (その理由)</p> <p>・新たな工法の採用、工事発注の効率化、工事実施工程の効率化等によるコスト削減による、維持補修実施箇所の拡大。</p>
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	<p>(評価) <b>必要性がない</b> (その理由)</p> <p>・維持補修必要箇所が対象である。</p>		廃止・休止した場合の影響はありますか？	<p>(評価) <b>影響あり</b> (その理由)</p> <p>・交通の安全を確保できない。</p>
	意図の見直しの必要性はありますか？	<p>(評価) <b>必要性がない</b> (その理由)</p> <p>・維持補修必要箇所の整備を行い、交通の安全を図るため。</p>		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	<p>(評価) <b>類似事業なし</b> (類似事業名、理由)</p>
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)？	<p>(評価) <b>必要ある</b> (その理由)</p> <p>・道路の管理責任は飯田市である。</p>		効果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	<p>(評価) <b>不可能</b> (その理由)</p> <p>・事業費については、現予算では全ての維持補修必要箇所の整備はできない。現予算での維持補修率は70%程度である。</p>
			公平性評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	<p>(評価) <b>妥当である</b> (受益者とその理由)</p> <p>・全市民が対象である。</p>

**【Plan】改革改善**

<p><b>今後の事業の方向性</b></p> <p><input type="checkbox"/> 終了</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止</p> <p><input type="checkbox"/> 休止</p> <p><input type="checkbox"/> 目的見直し</p> <p><input type="checkbox"/> 別事業に統合</p> <p><input type="checkbox"/> 事業のやり方改善</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>実施年度 <span style="color: green; font-weight: bold;">→</span> <b>具体化</b></p>	<p><b>何を、いつまでにどうするのかの改革改善案</b></p> <p>・維持補修要望箇所が多い中、全箇所の整備が困難な状況により、緊急性、必要性等を精査し明確な順位付けを行う。</p> <p>上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法</p> <p>・市民に対して維持補修箇所を決定した説明責任。</p> <p>・明確な採択根拠を説明できるように用意しておく。</p>
---	---

**【補足事項環境側面】**

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？		

**【指摘事項】**

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	